

平成28年度 第1回能勢町子ども・子育て会議
～議事録～

日 時：平成28年7月6日(水)10:00～12:00

会 場：能勢町保健福祉センター2階 多目的室

出席者：小島会長・樺山副会長・藤本委員・宇佐美委員・中橋委員・八木委員・畠委員・
三浦委員・中谷委員・市村委員・萱野委員・後藤委員・齋藤委員・太田委員・
伊木委員

【計15名】

傍聴者：2名

事務局：山口町長

健康福祉部 渡瀬部長・古畑課長・西村所長・大植係長・岩崎主事
教育委員会 瀬川教育次長

次 第：1. 開会

司会：大植係長

2. 議事

議長：小島会長

- (1) 会長・副会長の選出について
- (2) 能勢町子ども・子育て支援事業計画について
- (3) 能勢町子ども・子育て支援事業計画 平成28年度の事業目標について
- (4) その他

司会	皆さま、おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。 これより、平成28年度第1回能勢町子ども・子育て会議を開催させていただきます。 それでは、はじめに、能勢町長 山口 禎より皆さんに挨拶申し上げます。
町長	(あいさつ)
司会	案件に入る前に事務局よりご説明させていただきます。 本会議につきましては会議録を作成し、公開する事となっておりますので、委員の皆様には、ご了解いただきたいと思います。 なお本日は、関係機関として参画をお願いしている池田子ども家庭センターの田村様より欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。 (委員の委嘱及び任期について) (配布資料の確認) (出席者の自己紹介) (事務局の自己紹介) (能勢町子ども・子育て会議の経過について説明) それでは、案件に移らせていただきたいと思います。

	<p>案件①会長・副会長の選出について、設置条例第5条第1項によれば互選により定めるとなっております。如何させていただきますでしょうか。もし、よろしければ事務局より提案させて頂きたいと思いますが、如何でしょうか。</p>
全委員	(承認)
事務局	(事務局案説明。会長：小島委員、副会長：樺山委員)
全委員	(承認)
司会	そうしましたら、会長、副会長を代表し、小島会長よりごあいさつ頂けたらと思いますのでよろしくお願い致します。
会長	(会長挨拶)
司会	これよりの進行につきましては設置条例第6条第1項の規定により会長に議長をお願いいたします。
議長	<p>それでは只今より議事に入ります。</p> <p>案件②能勢町子ども・子育て支援事業計画について事務局より説明をよろしくお願い致します。</p>
事務局	(町内の就学前児童の状況・子ども・子育て支援事業の供給体制説明)
議長	只今、支援事業計画について事務局より説明いただきました。ご質問等ございましたら、よろしくお願い致します。
委員	養育支援訪問事業について細かく説明頂けますか。
事務局	内容は記載のとおりです。主に保健師が訪問して子育てに関するアドバイスをさせて頂いています。乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)と違い、子育てについて悩んでいるご家庭や家庭環境的に孤立しがちなご家庭を訪問させて頂いています。平成27年度については2人に対して計11回訪問致しました。
委員	見込みについてはどのように算出したのか教えて頂けますか。
事務局	こちらは実績より算出しました。町内の子どもは減少していますが、対象家庭は毎年5件程度あるのではないかと見込んでいます。
委員	平成27年度は2人のみの利用ですが、見込である5人のうち残り3人は把握していますか。
事務局	年間5人訪問と設定してはおりません。保健福祉センターで行っている4か月訪問・8か月訪問で訪れた際に母親からのSOSにより対象となる方や、転入家庭のうち家庭環境が複雑な方を保健師がつけ訪問している事業であることから、常に同じ方が継続して対象となる場合もあれば、改善して対象でなくなる場合もあります。
議長	<p>案件②については、次の案件と関連しますので、他に質疑があれば案件③の説明終了後、あわせて質疑も受けることとし、次の案件に移らせて頂きます。</p> <p>案件③能勢町子ども・子育て支援事業計画平成28年度の事業目標について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(平成28年度に実施する19事業について説明)</p> <p>(能勢町子どもの生活に関する実態調査について追加説明)</p>

議長	平成28年度事業計画、調査実施要領について事務局より説明がありました。ご質問ありませんでしょうか。
委員	<p>実際、調査することによって行える支援を具体的に示すことが出来ると思います。</p> <p>その支援が先程の計画と関連してくると思いますが、その点についてどのように考えていますか。</p>
議長	<p>支援事業と実態調査の2つはどのような関連をもって、どのような支援が行えるのかとのご質問です。</p> <p>これらについて、今、考えられている範囲で結構ですのでお答えいただけませんか。</p>
事務局	<p>子どもの生活に関する実態調査について実施後、何を能勢町としてやっていくのかというご質問と思われます。</p> <p>調査結果の把握が第一と考えており、結果から福祉と教育の連携した支援が必要となる場合も出てくることも考えられます。</p> <p>これについては福祉課、教育委員会、学校、その他関係機関と結果を分析してどのような支援が必要であるかを検討してまいります。</p> <p>また、学校等が把握している実態と調査結果から導き出した実態が相違ないかについても検証します。</p> <p>必要であれば平成29年度予算に措置することも考えてまいります。</p>
委員	何か目的があれば支援対策もはっきりとしてくると思いますので、どのような目的でアンケートをするのかを知りたかったです。
町長	大阪府内の状況と能勢町内の状況を比較してみて、支援事業計画の見直しによって解決する問題もあれば、全く新たな事業として立ち上げなければ解決できないといった課題もあると思います。その見極めをすべきと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。
事務局	<p>第2回会議では、アンケート結果を皆様にも見て頂き、ご意見いただければと考えています。</p> <p>実態調査を共同実施する大阪府の担当者に確認したところ、大阪府も財政が厳しい中で新たな財源を投入する施策の実施は難しく、大阪府としては、官民連携・NPO等を活用した地域ぐるみの施策や事業を構築していきたいと聞いており、能勢町としても調査結果を踏まえた上で施策を構築していきます。</p>
議長	<p>近年、子どもの貧困が叫ばれてきております。</p> <p>貧困といえども各市町村により原因は違うので、自分の市町村の状況をしっかり見極めて、今後出てくる結果如何で考えるべき内容が事業計画の中でも変化するのではないかと思います。皆様いかがでしょうか。</p>
委員	アンケート結果について先生方が感じている学校での子どもたちの様子とも合わせて確かめたいとのことでしたが、本日ご出席されている学校関係者の方がどのように感じられているのかお聞きしたいです。
議長	4月より町内の小中学校が各々1つになって新たに出発しましたが、小中学校が1つになってからの子どもの状況を踏まえてお話しただ

	<p>けますでしょうか。</p>
委員	<p>子どもたちの生活背景については、全国学力調査での結果によって、把握しているところもありますが、貧困家庭について項目を取り上げて精査したものではなく、支援の必要な児童の洗い出しまで至っていません。</p> <p>5つの小学校が再編されましたが、就学援助・要保護家庭数は把握しています。しかし、その比率が近隣市町村より高いのか低いのか比較検討まではしていません。</p>
議長	<p>私たちに知らせて問題ない範囲で結構ですので中学校はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>就学援助の件数が年々増えていることは実感していますが、生徒をみているとそんなに増えたようには思えません。</p> <p>今年度から給食が導入されたため、生徒の食事情が見えず、中学校は制服着用のため衣服に関しても把握しにくいところです。</p> <p>ただ、中学生になると小学校時代より親の手がかけられていなかったので、気になる生徒については担任が家庭訪問をして様子を聞いています。</p> <p>訪問した家庭がすべて貧困家庭なのかと言われると複雑な家庭環境が原因の場合もあります。</p> <p>送迎に関してもスクールバスに乗り遅れた場合に保護者が迎えに来ず、帰宅できないといった報告は受けていませんので、一定の生活は保障されているのではないかと考えています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>生活実態調査の結果を踏まえて、見えてきた課題について、どうすべきか考えていきたいと思えます。</p> <p>この件については重要課題として、本会議では取り扱っていきます。調査結果については、子どもの幸せのために考えられる部分が出てくるのではないかと思います。</p> <p>実態調査については、本会議に情報提供できる範囲で提供していただいて委員の皆様と一緒に考えられたらと思います。</p> <p>他に質問ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>資料③に記載されている子育て短期支援事業（ショートステイ）・病後児保育事業について計画策定時のアンケート調査により見込を試算されたとのことですが、町内にニーズがあると思われます。実際はともに実施量が0となっている理由は何でしょうか。</p> <p>提供できる環境が整っていないのか、あるいは保護者への周知が不十分なのか。</p> <p>これらが実態調査の項目に含まれるか分かりませんが、保護者が安心して働くためにも必要ですし、我々医療機関にとっても皆様がどのような状態であるか把握したいところです。</p> <p>今の状況と見通しについて教えてください。</p>

事務局	<p>見込み数が一定量あることから潜在的なニーズがあるのではないか、供給体制はどのようになっているかというご質問についてですが、子育て短期支援事業（ショートステイ）とは、保護者が病気等で一時的に家庭にて保育・養育が出来なくなった場合に児童養護施設等に入所させ保護を行う事業です。これについては児童養護施設や乳児院のように宿泊できる施設でないと実施出来ません。</p> <p>各市町村での取り組みですが、他の市町村では、自治体内の児童養護施設や乳児院、24時間開設の保育所に委託をし、対象児童が出た際には預かってもらうようになっています。能勢町については、町内に児童養護施設がなく、豊能地区（豊中市・池田市・豊能町・能勢町）にも児童養護施設がないことから施設との連携が出来ていないのが現状です。過去に保健福祉センターにご相談に来られた方がいましたが、池田子ども家庭センターに相談して一時保護という形で児童養護施設に入所いただきました。ニーズはあると思われませんが、対象者が出た場合は池田子ども家庭センターと連携して一時保護で対応しようと現状は考えております。</p> <p>また、病後児保育については、病院や保育所に専用スペースや医師や看護師、保育士といった人員や環境・設備が整っていないと出来ません。能勢町は、町内に場所や人材の確保出来ておらず、事業実施には至っておりません。</p> <p>これを補完するものとして平成27年度からファミリー・サポート・センター事業で病後児保育に対応出来る会員確保をしているところであります。</p> <p>アンケート回答数から130～150人程度の見込み数が出ています。しかし、現在町内に預けられる施設がないので、お子様が病気の際は両親が仕事を休むまたは祖父母や近所の知り合いに預けることで対応いただいているのが現状です。</p>
委員	<p>都市部でもそのような施設はほとんどないです。私自身も子育て世代であり、周辺の方に聞いても親族や知人の世話になることで対応しています。</p> <p>仮に保育施設に預けてもその日の収入より高い料金を払うことになるので利用されていないのが現実です。</p>
委員	<p>実態調査について、質問項目についてはこれで全てでしょうか。</p>
事務局	<p>府の質問項目についてはこれで全てです。</p>
議長	<p>これらに町独自の項目が入るわけですね。</p>
事務局	<p>項目の追加については子ども向けには2問、保護者向けには4問の追加を考えていますが、現在調整中です。</p>
委員	<p>質問について子どもに虫歯があるかどうかを加えれば、生活実態が把握しやすいのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>このようなご意見も出ております。</p> <p>この件につきましては調査をする上で項目一つ一つを精査して考え</p>

	て頂くということでもよろしいでしょうか。
委員	分かりました。
議長	他にはございませんでしょうか。 質疑無いようですので、伊木委員より事前に事務局へ質問書が提出されています。その件について事務局より回答をお願いします。
事務局	<p>(事務局、質問書・説明資料配布)</p> <p>1つ目の質問である「能勢町ひと・まち・しごと創生総合戦略」との整合性についてですが、総合戦略の基本目標の1つに「教育の魅力化と若い世代の結婚・出産・子育てを応援」が掲げられているが能勢町子ども・子育て支援事業計画とどのように整合させるのかという点について回答します。</p> <p>総合戦略は能勢町全体の施策について書かれており、教育・福祉部分については子ども子育て支援事業計画を踏まえて総合戦略を作成しておりますので、基本的には内容は整合しています。</p> <p>ただし、総合戦略においてKPI（重要業績評価指標）を数字として設定していますが、これは支援事業計画では触れておりません。しかし、KPIとした設定した数値は、支援事業計画を踏まえたものとなっております。</p> <p>総合戦略は、平成27年度から平成32年度までの5年間を実施期間としておりますので、子ども・子育て支援事業計画とともに、施策、事業に取り組むことによって指標の達成を進めていきたいと考えております。</p> <p>2つ目のご質問である「放課後児童クラブについて」は資料④でもご説明させて頂きましたが、放課後児童クラブは一時的に入会受付を停止しております。</p> <p>家庭で保育が出来ないため入会したい方ばかりなので、なるべく待機児童は発生させないようにしたいと考えております。</p> <p>今回、夏休み前ということで普段は利用予定のない方からも夏休みの利用についてお電話での相談もあり、それらの相談について一段落したところで今回の入会受付の一時停止の案内をさせて頂きました。一時停止となっているがどうしても困るというご家庭については適宜対応させて頂きます。</p> <p>保護者より小学校に直接ご相談があれば、一度保健福祉センターまでご相談いただきたいとご案内していただければと思います。</p> <p>本件の対応策としましては、定員を増やし、集団単位を2つにすること等が挙げられますが、指導員体制や確保が課題となります。</p> <p>児童クラブには、登録されている48名全員が毎日出席する訳ではなく、平均すると37～38名が出席しています。児童クラブの利用状況等を鑑み、利用希望があれば受け入れていきたいと考えています。</p> <p>以上が伊木委員からの質問に対する回答とさせて頂きます。</p>
議長	ご質問に対して事務局より回答がありました。伊木委員、如何でし

	ようか。
委員	<p>総合戦略で各項目について具体的な数値が挙がっていますが、目標数値は高い水準に設定されています。</p> <p>目標達成は今の取り組みのままでは無理と思われるますが、追加の取り組みは予定されていますか。</p>
議長	数値目標についてのご質問ですが如何でしょうか。
事務局	<p>こちらは今年の2月に策定したところで、具体的な取り組みについては各担当課で検討しているところです。</p> <p>この総合戦略は国の交付金対象事業も含まれており、内容が合致すれば交付金が頂けるものもございます。今後は補助金確保と町が取り組むべきことを精査してまいりたいと考えています。</p>
議長	質問についてしっかりと回答いただきましたが、予算措置が必要となる事業も出てくると思いますので、もうしばらく長い目で見ていただければと思います。
委員	<p>もう一つ質問ですが、総合戦略において、子ども・子育て家庭の遊び・集いの場を2カ所整備する予定となっています。</p> <p>これは前回の公募委員の意見でもあり、以前質問させて頂いた際には案の段階であり回答できないとのことでした。今回総合戦略として数値が挙がっていますので、実現に向けて決まっていることがあれば教えて頂けますか。</p>
事務局	子ども・子育て家庭の遊び・集いの場の整備について2カ所として設定した理由ですが、東西に1ヶ所ずつ整備していきたいということから目標を設定しています。ただし、具体的には決まっておらず、今後、この会議においてお伝えしていければと考えています。
議長	<p>昨年度の皆様の意見に基いて2カ所整備という具体的な目標が出来たということと平成31年度までに整備ということで皆様にはご理解いただきます。</p> <p>その他、質問はございませんでしょうか。</p>
委員	配布資料③の中に0歳～5歳までの年齢別施設利用状況が記載されていますが、今保育所に通う5歳児全員が来年度放課後児童クラブを利用するなら、定員40名の半分程度を占めることとなります。その際の対応はどのように考えられていますか。
事務局	<p>これまでの実績から見ても保育所に通う子どもが全員利用するとは考えにくい状況です。保育所出身の1年生でも児童クラブを利用していない現状はあります。加えて、現在在籍している6年生は卒業し、在籍児童は減少します。また、アフタースクールに参加するので退会するという児童も出てくると考えられますし、保護者が働き始めるので入会を希望する児童も出てくると思います。</p> <p>ただ、やはり低学年のニーズが高く、次年度に関しては、危機感を持っています。来年度の4月に向けてどのようにすれば皆様のニーズに応えられるよう、考えてまいります。</p>

議長	<p>只今の件につきましては、今後、調整をしながら出来る限り待機児童の出ないように対応願いたいと思います。</p> <p>他にご意見・ご質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>生まれた子ども達が成人するまでに教育・保育受けている中で、我々がしなければならない子育て支援とは何なのか考えているのですが、私が思うに家庭教育の弱さの克服が我々に提示されているのではないかと考えています。</p> <p>子育て支援については、一つ一つの施策が国や能勢町などの行政により非常に力強く行われていますが、家庭の自立、保護者への支援がより必要ではないかと感じています。</p> <p>それらを掘り下げることで根本的な課題が見えてくるのではないかと推測しています。</p> <p>現在、子育てに関する支援や行政の努力は素晴らしいものですが、子どもを育てるのではなく子どもが育つになっていませんか。本当の子どもの育て方とはどのようなものか、本当に子どもが人間として自立しているか、手立てを打たない限りいくら対策をしたとしても基本的に他人事となり、自分が満足すればいい自己中心的な人間がたくさん生まれてきます。0歳からの教育について如何すれば皆さんに理解して頂けるのでしょうか。</p>
議長	<p>大切なご意見を頂けたと感じております。</p> <p>まとめますと、行政より多大な支援が行われていますが、それがかえって各家庭に対して空回りしていないか、子育て支援について手立てを打つことも大切ですが、親たちが自分を磨いて自分で子育てをするという姿勢や考える力を身に付けることも大切でそのような事も本会議にて議論すべきとのご意見だと思います。</p> <p>今日いただきました様々なご意見をはじめ、今後実施される実態調査から出てきた意見等を掘り下げることによって課題を整理していけば、ご質問のあった問いの答えもおのずと出てくるのではないかと思います。</p> <p>またこの件については今後、皆様とともに考えていきたいとも思っております。</p> <p>お時間も迫ってまいりましたので、案件④に移らせて頂きます。</p> <p>案件④その他についてですが、今日ぜひとも伝えたいというご意見が委員の皆様にありますらお願いいたします。</p> <p>事務局も資料について説明されたい部分もあると思いますので、事務局からも何かございましたらお願いいたします。</p>
町長	<p>子育て世代が変化してきており、子どもにとって家庭環境がどれほど大きな影響を与えるか理解されていない方が多くなっています。現状を少しでも改善するために導いていかなければならないと私は考えております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。町長のおっしゃるとおりではないかと思</p>

	ます。委員の皆様からその他ございませんか。事務局からは何かありませんか。
事務局	(今後行われるイベントについて再度PR) 次回会議予定について、第2回会議は11月頃開催を予定しており、実態調査の速報値をお示しし、ご意見いただければと考えています。また、第3回会議は2月頃を予定しています。
議長	他にはご意見ございませんでしょうか。ないようですので閉会のご挨拶を榊山副会長よりお願いしたいと思います。
副会長	(閉会挨拶)
事務局	長時間にわたりまして、貴重なご意見いただきありがとうございました。また、次回会議においてもご議論の程、どうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。